

モミクリーナ

PC 3500 (3) / T1 (2)

取扱説明書



Model :PC3500(3)

株式会社 **サタケ**

安全標示について

ご使用のまえに、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、標示で区分して説明しています。
安全標示の種類と意味は以下の通りです。

安全標示が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

安全標示	意 味
 危 険	この標示に従わなかった場合、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険がある内容を示しています。
 警 告	この標示に従わなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注 意	この標示に従わなかった場合、人がケガを負う可能性がある内容を示しています。

その他の標示	意 味
<u>取扱注意</u>	この標示に従わなかった場合、製品の損傷や故障、または原料の損傷が生じる可能性がある内容を示しています。
<u>補 足</u>	使用上役立つ補足説明を示します。

重要なお知らせ



- この取扱説明書を読み、理解するまでは、操作および保守・点検を行わないでください。
- 本製品の操作および保守・点検を行うときは、必ずこの取扱説明書に従ってください。
いつでも調べられるように、この取扱説明書を本製品の近くに大切に保管してください。

- 疑問点または不明な箇所があれば、お買い上げの販売店・JAまたは、巻末の「**緊急時の連絡先**」に問い合わせて回答を得るまで、作業を進めないでください。
- この取扱説明書に従わなかったために、あるいは誤用や無断改造がなされたために、ケガを負ったり損害が発生したりしても、株式会社サタケおよび販売店・JAは一切その責任を負いません。

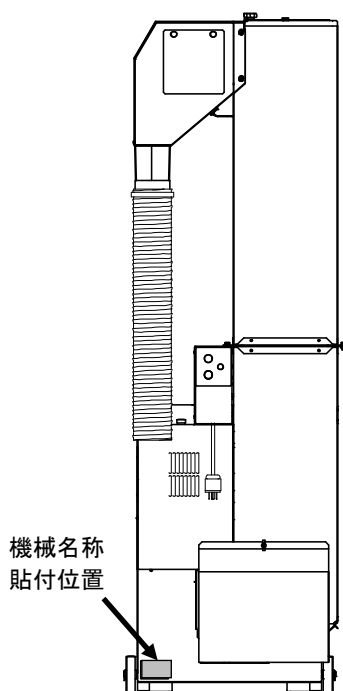
1. 本製品は、乾燥粉用です。他の用途には使用しないでください。
2. 近年、産業機械には、新しい材料や加工方法の採用により、さまざまな危険が数多く発生する傾向にあります。

本製品の取扱上の危険についても、すべての状況を予測することはできません。

そのため、この取扱説明書の記載および機械本体に標示している事項は、すべての危険を想定しているわけではありません。

したがって、機械の操作または日常点検を行う場合は、この取扱説明書の記載および機械本体に標示している事項に限らず、安全対策に関しては十分な配慮が必要です。

3. この取扱説明書について、質問やより詳しい情報が必要な場合は、お買い上げの販売店・JAまたは、巻末の「緊急時の連絡先」にお問い合わせください。
4. この取扱説明書において、ページの「乱丁」や「落丁」などがあった場合は、お取り替えいたします。お手数ですが、お買い上げの販売店またはJAまでご連絡ください。
なお、その際は機械名称も併せてご連絡ください。



保証の限定

本製品は厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。

正常なご使用状態において故障した場合には、納入日より１年間無料で修理いたします。

＜保証事項＞

1. 取扱説明書、本体標示ラベルに従った使用により機械が保証期間内に故障した場合には、保証書をご持参ご提示の上お買い上げの販売店またはＪＡに修理をご依頼ください。
ただし、保証書のご提示なき場合、消耗部品およびその交換費用は保証期間内でも有償となります。
2. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
3. 無料修理期間中でも、**次の場合は有料修理になります。**
 - (1) 誤った使用方法、あるいは取扱上の不注意によって生じた損傷および故障。
 - (2) 不当な修理や改造によって生じた損傷および故障。
 - (3) 火災、公害、塩害、異常電圧などの外部要因、地震、雷、風水害などの天変地異によって生じた損傷および故障。
 - (4) 一度据え付けた後の移動、落下により生じた損傷および故障。
 - (5) 弊社純正部品以外の使用、お買い上げの販売店・ＪＡまたはその指定サービス工場以外での修理による故障。
 - (6) 保証書の紛失、保証書の記入事項または字句を勝手に訂正された場合。
 - (7) 木切れや石などの異物が機械内に入って生じた損傷および故障。

＜免責事項＞

1. 上記（１）から（７）の場合、保証期間内外を問わず、これにより生じる直接および間接損害、その他一切の損害については、何ら責任はないものといたします。
2. お客様が本製品を別のお客様にお譲りになる場合は、必ずお買い求めいただいた販売店またはＪＡ、もしくは新しく製品をお求めになる販売店またはＪＡにご相談ください。
お客様が別のお客様に直接お譲りになりますと、製品の状態（修理履歴、移設作業の状態）、付属品（取扱説明書等）の有無を把握できないため、製品の安全性や性能について保証できなくなります。

もくじ

	ページ
安全標示について	i
重要なお知らせ	ii
保証の限定	iv
ご使用のまえに	
安全上の注意事項	1
使用上の注意事項	3
標示ラベルについて	4
各部のなまえ	6
運転・操作部のなまえとはたらき	7
運転前の準備と確認	9
運転のしかた	
運転の開始	13
運転の終了	15
お手入れと保管	
各部の掃除	16
ゴム板の点検	18
保管	18
困ったとき	
困ったときの対処のしかた	19
その他	
配線図	21
結線の変更 (PC3500)	23
オプション部品	24
消耗部品	25
仕様	26
機械寸法	27
ベルトの掛け方とサイズ	28
機械の組立	
機械の組立要領	29
組立	30
保証とアフターサービス	33
緊急時の連絡先	巻末

ご使用のまえに

運転のしかた

お手入れと保管

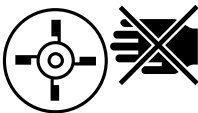
困ったとき

その他

機械の組立

安全上の注意事項



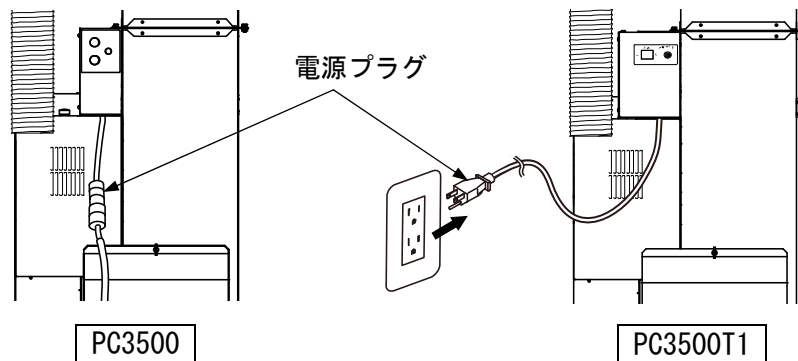
子供を近づけない	作業場に、作業に関係ない人は入れないようにしてください。特に子供を遊ばせないように注意してください。
使用する人の制限	過労・病気にかかっている等で健康状態の悪い人、また酒気帯び、妊娠している人、若年者は作業および運転操作をしないでください。
作業に適した服装の着用	長い頭髮は束ね、作業に適した袖口のしまった服（例えばつなぎ）および底のすべらない靴で作業をしてください。 作業時は、ヘルメット、安全靴、必要に応じて防塵メガネ、手袋、マスクを着用してください。
接地（アース）	漏電による感電や火災防止、機械の誤動作防止のため、必ず接地（アース）をしてください。接地（アース）工事は、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
漏電ブレーカの設置	漏電事故防止のため、元電源に漏電ブレーカを設置してください。設置については、電気工事店に依頼してください。
周囲を確かめてから運転開始	運転は周囲の安全を確かめてから開始してください。 2人以上で作業するときは、お互いに合図を交わしながら行ってください。
カバー類を取り付けて運転 	カバー類はすべて取り付けて運転し、運転中はカバー類を取り外さないでください。 駆動部でケガをするおそれがあります。
ホッパの奥へ手を入れない 	運転中はホッパの奥へ手を入れないでください。 金網でケガをするおそれがあります。

！ 警 告

掃除・点検時は電源プラグを抜く

各部の掃除・点検をする場合は、電源プラグを抜いて行ってください。

電源プラグを抜かないと、点検中、感電するおそれがあります。



！ 注 意

機械周辺の整理整頓をする

電源コードにつまつかないように機械周辺の整理整頓をしてください。

運転中は機械の点検および調整を行わない

特に指示する箇所で機械の点検および調整の必要がある場合は、元電源を切り、機械が完全に停止している状態で行ってください。

使用上の注意事項

水平な場所に据え付ける	水平でしっかりとした場所に据え付けてください。水平でないと振動の発生や性能の低下の原因になります。
落雷のおそれがあるときは電源プラグを抜く	落雷のおそれがあるときは、機械保護のため運転を止め電源プラグを抜いてください。
コードリールの使用やタコ足配線をしない	コードリールの使用やタコ足配線はしないでください。電圧降下の原因となります。
水を掛けない	機械には水を掛けないでください。 水が掛かると電気回路がショートし、機械が故障または損傷するおそれがあります。
揮発性の高い薬品の使用禁止	本製品周辺で揮発性の高い薬品を使用・保管しないでください。機械が故障するおそれがあります。
保管時のネズミ侵入対策	機械の保管場所は乾燥した平らな所を選び、機械内にネズミが侵入しないように注意してください。

補 足

機械周辺の作業通路を確保	機械周辺の作業通路を確保してください。 狭いと部品交換や掃除ができなくなります。
--------------	---

標示ラベルについて

本製品には、特に注意を要する箇所に標示ラベルが貼り付けてあります。
これらの正確な位置および危険防止の内容をよく確認のうえ、理解してください。

1. 標示ラベルの貼付位置

標示ラベルの貼付位置と標示ラベルの内容については、図1および図2を参照してください。

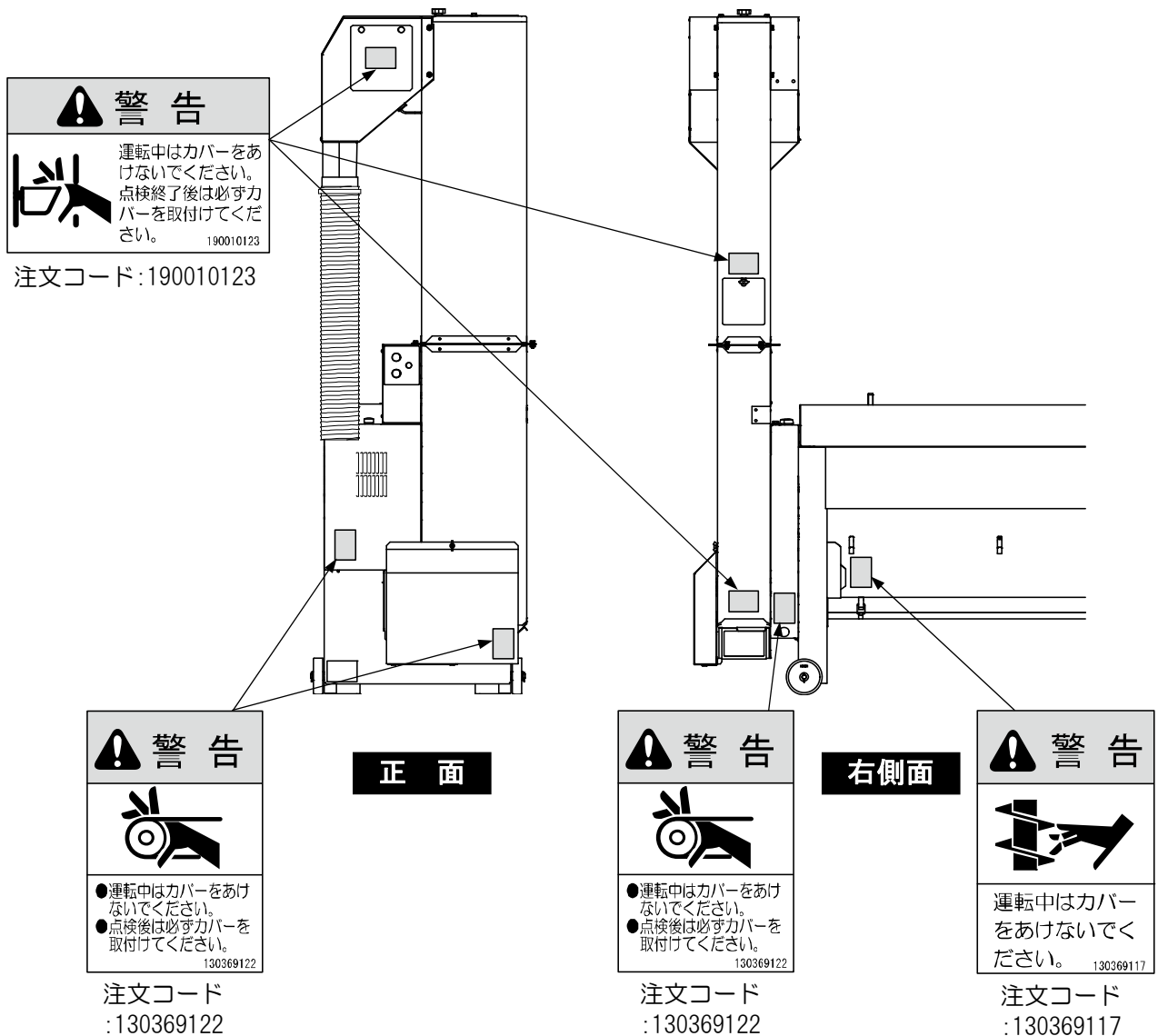


図1 標示ラベル貼付位置(1)

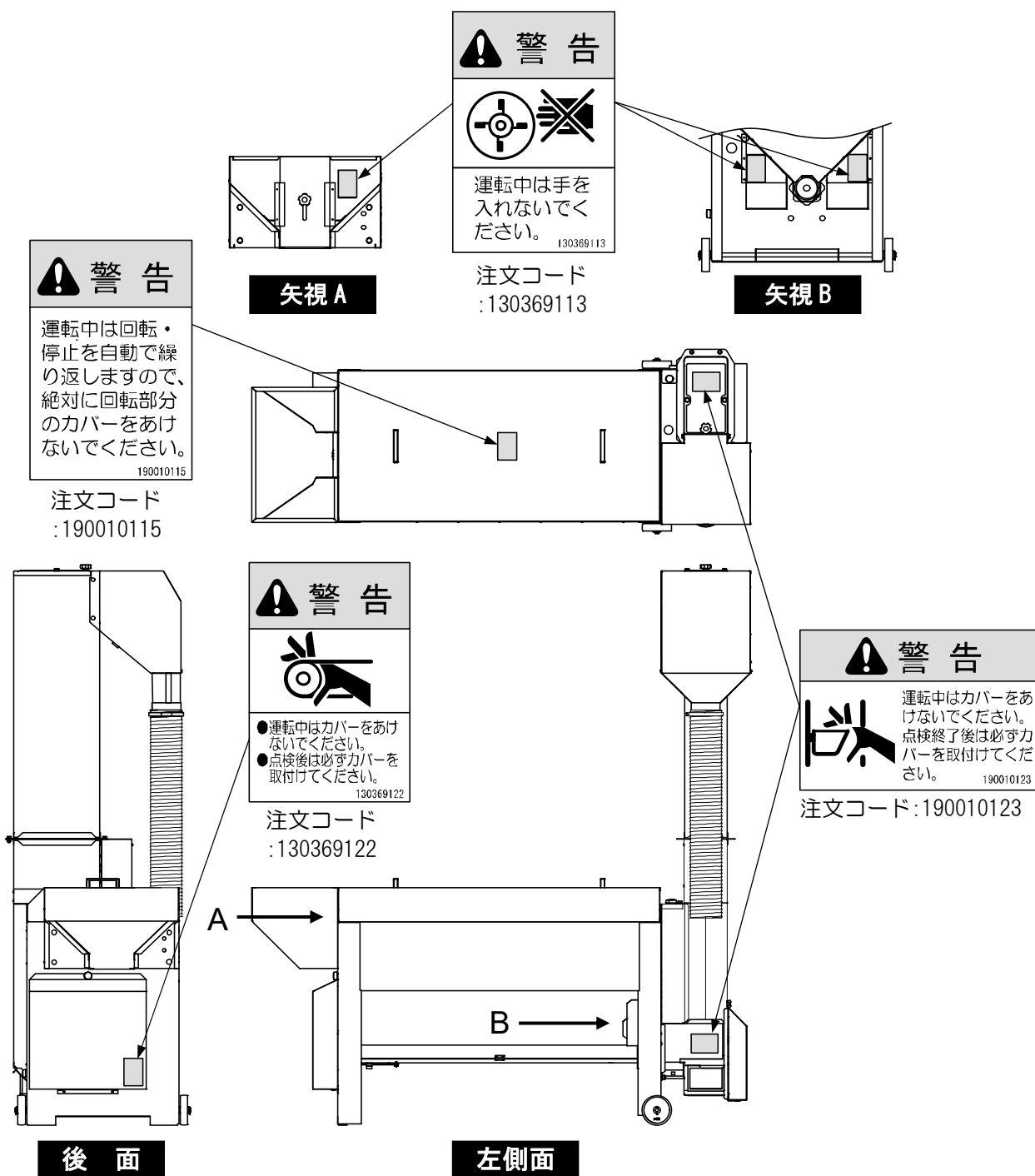


図 2 標示ラベル貼付位置 (2)

2. 標示ラベルの取り扱い

- 標示ラベルがすべて読めるか確認してください。
 汚れなどで文字やイラストが見えない場合、標示ラベルの汚れを落とすか交換してください。
- 標示ラベルの汚れ落としには布、水、洗剤を使用してください。
 有機溶剤やガソリンなどを使用しないでください。
- 標示ラベルの損傷、紛失、読めない場合は、標示ラベルを購入して貼り替えてください。
 問い合わせ先は、巻末の「緊急時の連絡先」を参照してください。

各部のなまえ

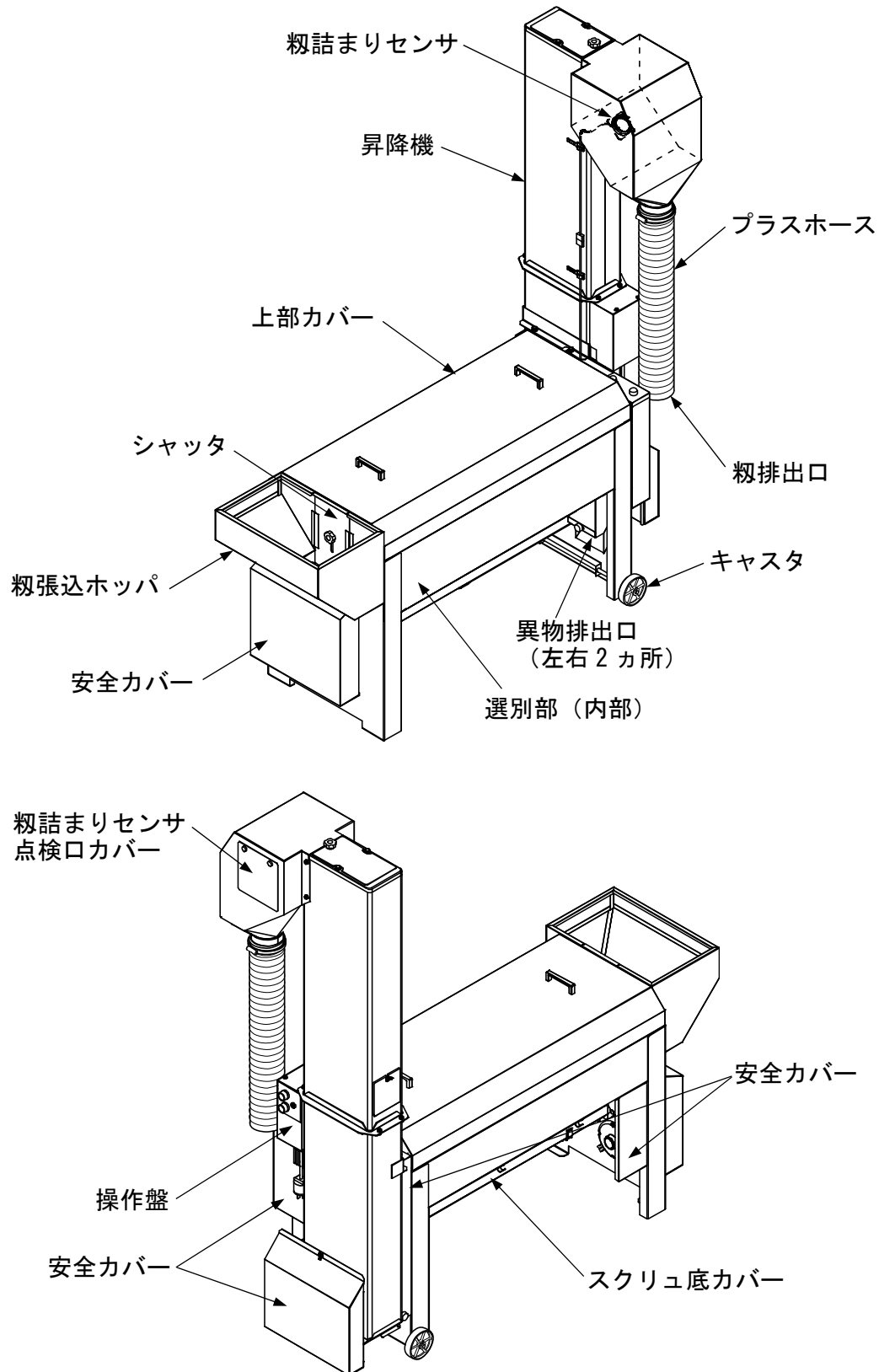
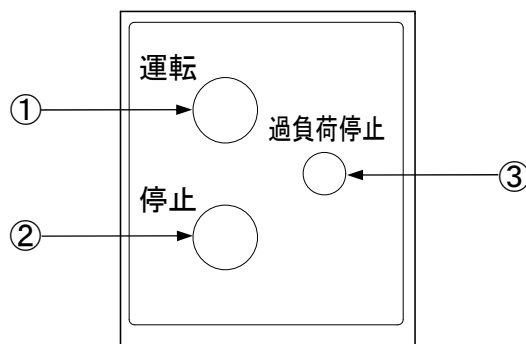


図 3 機械全体図

運転・操作部のなまえとはたらき

1. 操作盤

【PC3500】

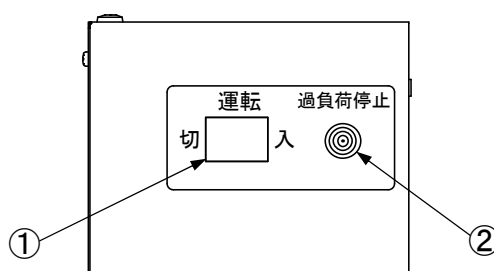


No.	名 称	機 能
①	運転スイッチ	押すと金網・スクリュ・昇降機が作動します。
②	停止スイッチ	押すと金網・スクリュ・昇降機が停止します。
③	過負荷停止ランプ	モータが過負荷のときランプ（橙色）が点灯します。 ^{注1}

注1：サーマルは自動復帰に設定してあります。

ランプ消灯後「運転スイッチ」を押して運転を再開してください。

【PC3500T1】

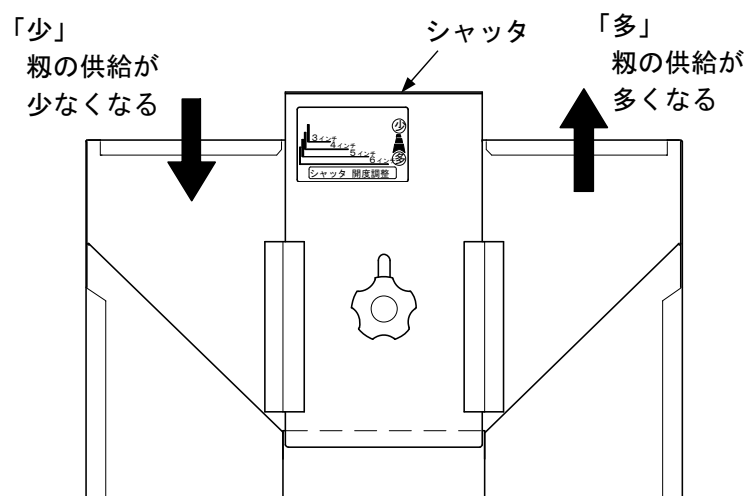


No.	名 称	機 能
①	運転スイッチ	「入」にすると金網・スクリュ・昇降機が作動します。 「切」にすると金網・スクリュ・昇降機が停止します。
②	過負荷停止ランプ	モータが過負荷のときランプ（橙色）が点灯します。 ^{注1}

注1：過負荷停止ランプが点灯したときは、「運転スイッチ」を「切」にした後、電源プラグを抜いてください。5秒以上経過したらプラグを差してください。ランプ消灯後「運転スイッチ」を「入」にして運転を再開してください。

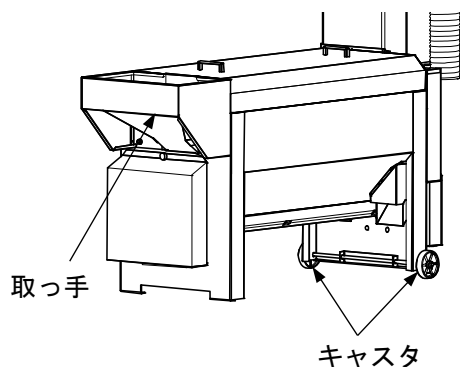
2. シャッタ

選別部への粳の供給・停止と粳の供給量を調節するときに使用します。



運転前の準備と確認

1. 機械の移動

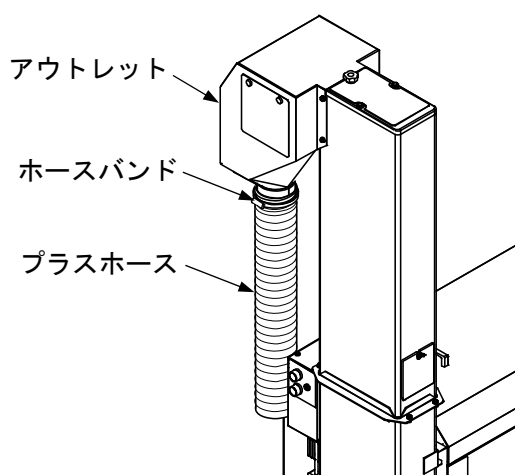


- 1) 取っ手を持ち上げて、キャスタで機械を作業場所に移動します。

2. 機械周辺の確認

- 1) 電源コードや配線に損傷のないことを確認します。
 - 損傷により修理が必要な場合は、お買い上げの販売店またはJ Aに依頼してください。

3. プラスホースの確認



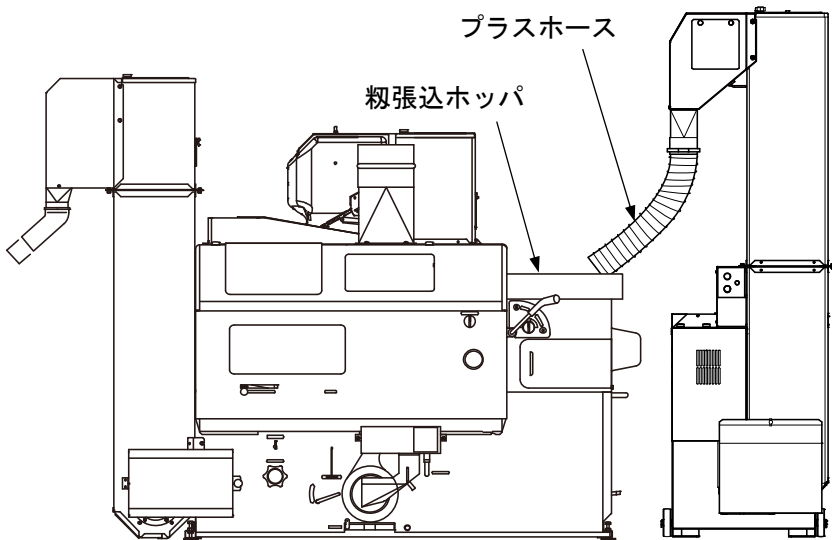
- 1) アウトレットとプラスホースを固定しているホースバンドが、確実に締め込んでいるか確認します。
 - 損傷により修理が必要な場合は、お買い上げの販売店またはJ Aに依頼してください。

4. 機械の据付

- 1) 機械は水平で乾燥した場所に据え付けます。
 - 水平でない場合は、薄い板を敷いて水平にします。
- 2) プラスホースの先端が、もみすり機の糲張込ホッパに入るように据え付けます。

取扱注意

- もみすり機にできるだけ近づけて据え付けてください。
離して据え付けるとプラスホース内の糲の流れが悪くなり、十分な性能を発揮できないことがあります。



※NPS5500・NRZ5500・SRZ5500 と連結して運転する場合は、プラスホースを切って長さを調節してください。

※NPS6000・SRZ6000 と連結する場合は、オプション部品の延長昇降機で排出高さを高くしてください。
(24ページを参照してください)

※ 図は TRZ400・500 です。

5. 結線 (PC3500)

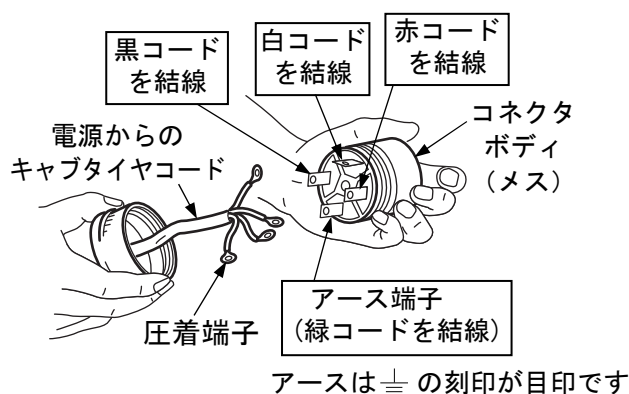
電源からのキャプタイヤコード（電源ケーブル）とコネクタボディ（メス）の結線方法



- 結線を行うときは、必ず電源ケーブルを電源から抜いて行ってください。

取扱注意

- 電源側（コンセント、ブレーカなど）が接地（アース）されていない場合は、別途、電気工事が必要です。
お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。



- 1) コネクタボディ（メス）に電源からのキャプタイヤコードを結線します。
 - (a) 電源からのキャプタイヤコードの先端に圧着端子を付けます。
 - (b) キャプタイヤコードの先端をコネクタボディ（メス）に確実に結線します。

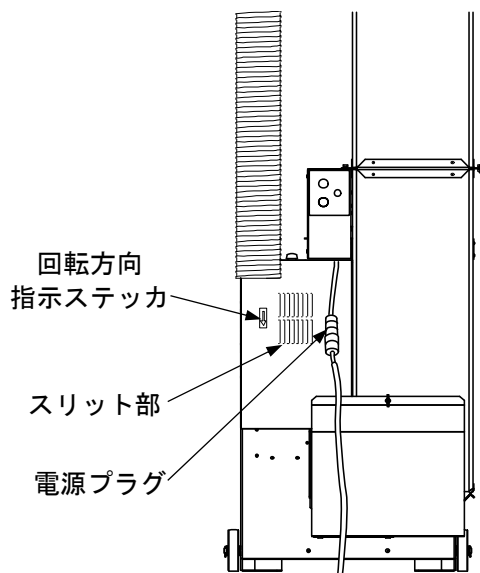
6. カバーの確認

- 1) 各部のカバーが確実に取り付けられていることを確認します。


警告

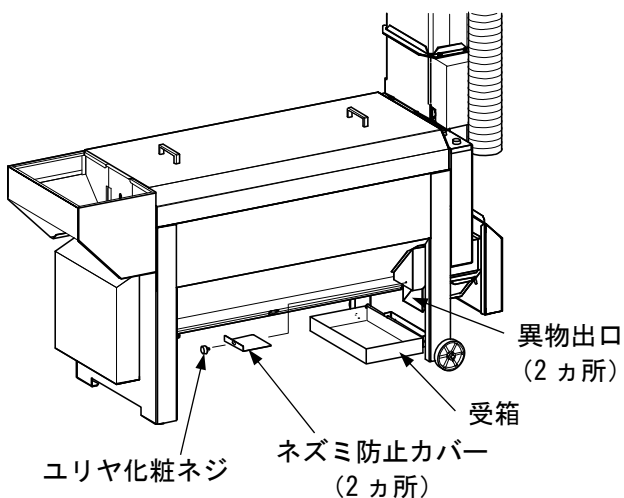
● 高所での確認が必要な場合は、お買い上げの販売店または J A に依頼してください。

7. 回転方向の確認 (PC3500)



- 1) 電源プラグを差し込みます。
 - 電源は三相 200V です。
- 2) [運転スイッチ] を押します。
 - カバーのスリット部よりプーリの回転方向を確認します。
方向指示ステッカの矢印方向に回転していれば正常です。
 - 回転が逆になっている場合は、結線の変更をします。
(23ページ「結線の変更」参照)
- 3) [停止スイッチ] を押します。
- 4) 電源プラグを抜きます。

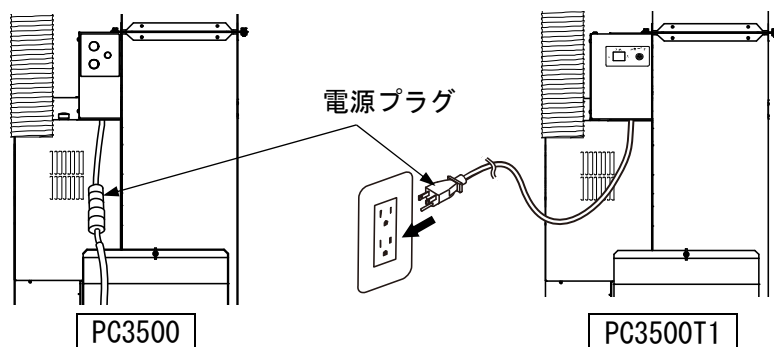
8. 受箱の設置



- 1) 異物出口のネズミ防止カバー (2 カ所) を外します。
 - ネズミ防止カバーとユリヤ化粧ネジは、機械を保管する際に使用するので、なくさないようにしてください。
- 2) 異物出口 (2 カ所) 位置に受箱を設置します。
 - 受箱はお客様にて準備してください。

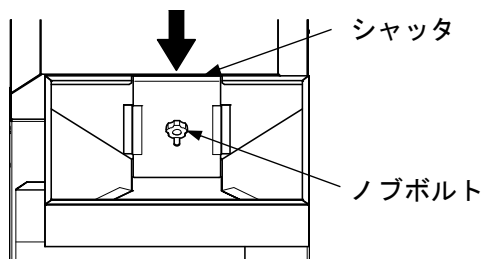
運転の開始

1) 電源プラグを差し込みます。



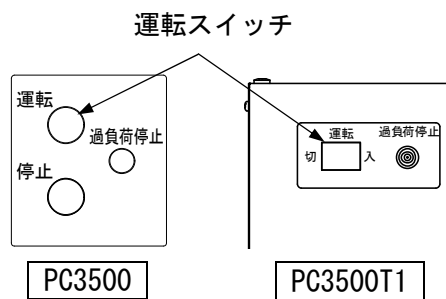
2) シャッタを閉めます。

- ノブボルトを緩め、シャッタを全閉にします。



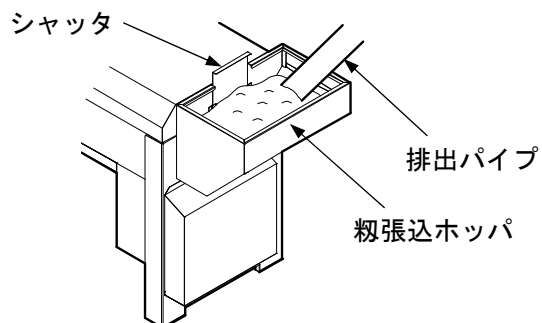
3) 運転を開始します。

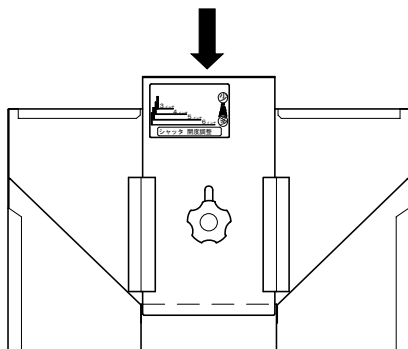
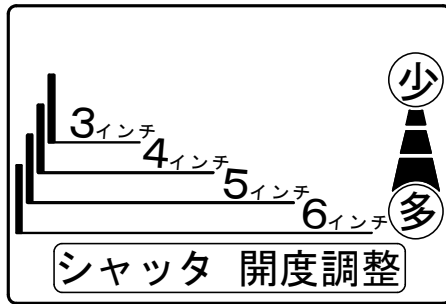
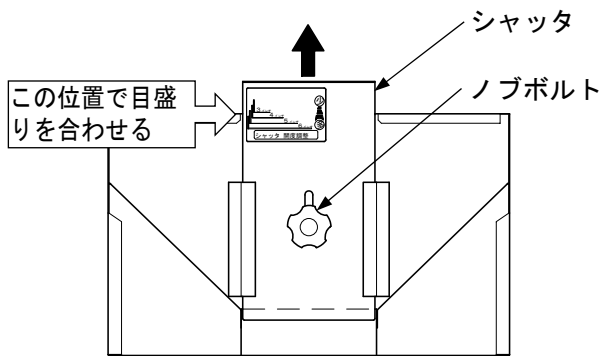
- PC3500 は、[運転スイッチ] を押します。
- PC3500T1 は、[運転スイッチ] を「入」にします。



4) 糞張込ホッパに糞を投入します。

- 糞張込ホッパに糞が半分以上溜まるようにします。
- 乾燥機等から張り込む場合は、排出パイプがシャッタ部に直接当たらないように設置します。





5) シャッターを開けます。

- シャッターはもみすり機の大きさにより開度を調整します。
シャッターを開けると、粉が機内に流れ選別され始めます。
選別された粉は、粉排出口より排出されます。
- シャッターに表示してある開度調整範囲は、おおよその目安です。
もみすり機の運転状態によりシャッター開度の微調整が必要です。
- シャッター開度の調整後は、ノブボルトを締めてシャッターを固定します。
- アウトレットに粉が溜まり、粉詰まりセンサが作動すると、機械が自動停止します。その後、粉が機外に排出されて、粉詰まりセンサが復帰すると機械は自動的に運転を再開します。
- シャッターの開度が広すぎると、自動運転・停止を頻繁に繰り返し、機械に負担がかかります。このような場合は、シャッターの開度を狭くしていき、機械の連続運転時間が 30 秒以上になるよう調整してください。

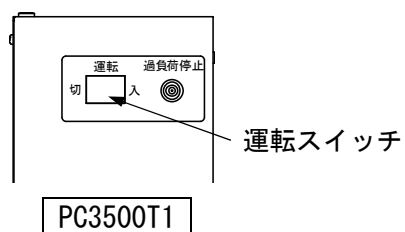
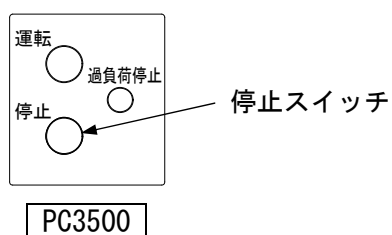
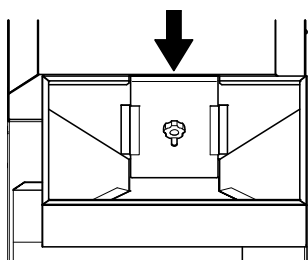
警告

- 機械が自動停止している間は、上部カバーを外したり、スクリュ底カバーを開けないでください。

取扱注意

- 乾燥粉以外は投入しないでください。
- 排出された異物は、定期的に取り除いてください。

運転の終了



- 1) シャッターを閉めます。
 - ノブボルトを緩め、シャッターを全閉にします。
- 2) 機内の粉がすべて排出されるまでしばらく待ちます。
- 3) 運転を停止します。
 - PC3500 は、[停止スイッチ] を押します。
 - PC3500T1 は、[運転スイッチ] を「切」にします。
- 4) 電源プラグを抜きます。

各部の掃除

警告

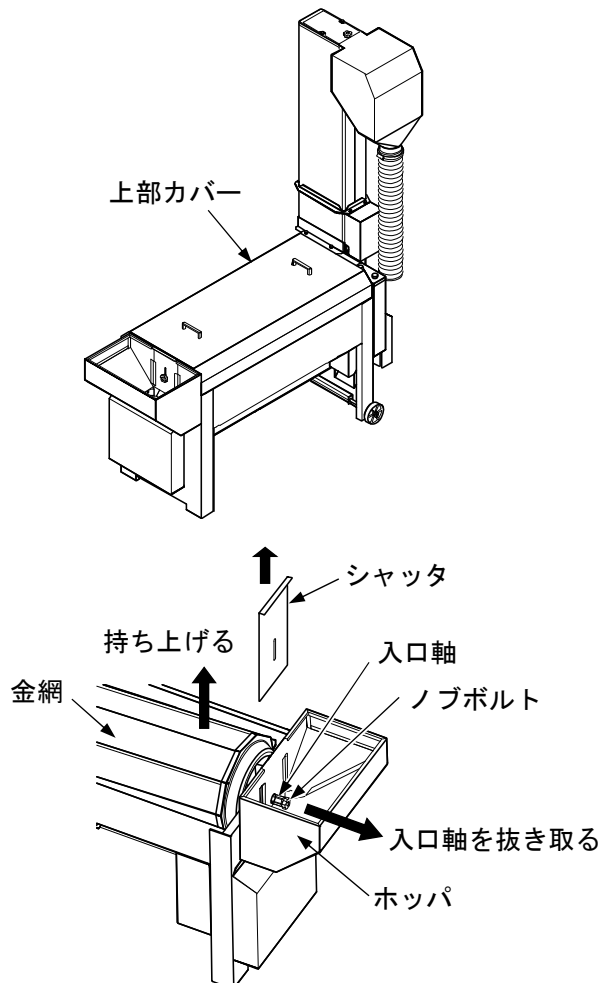
- 作業を行う前に、必ず電源プラグを抜いてください。
- 作業終了後は、すべてのカバーを元の位置に取り付けてください。

注意

- 作業時には、手袋・長袖・長ズボンなど、作業に適した服装および靴を着用してください。

稼働期後は、次の手順で機体に残留している粉や異物を取り除いてください。

1. 機体内の掃除

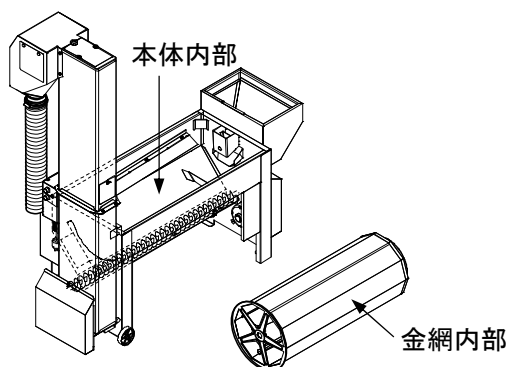
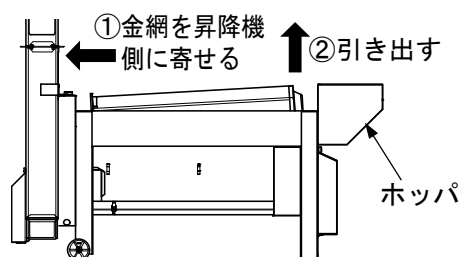
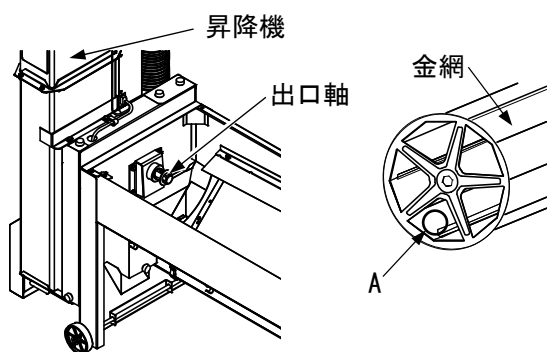


1) 上部カバーを外します。

注意

- 金網の端面で手を切傷するおそれがあるので、金網を取り扱う際には厚手の手袋を着用してください。

- 2) ノブボルトを外してシャッタを抜きます。
- 3) 2) で外したノブボルトを金網の入口軸にねじ込みます。
- 4) 金網を軽く持ち上げて、入口軸を抜きます。



5) 金網をホッパ側に寄せて、出口軸から外します。

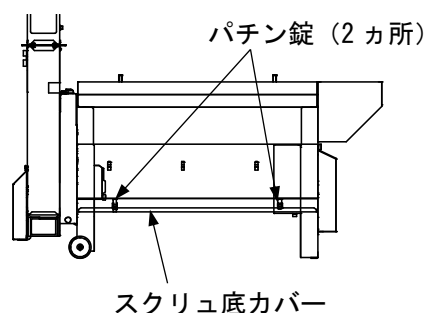
6) 金網の A 部を出口軸に入れるようにして、金網を昇降機側に寄せます。

7) 金網のホッパ側を持ち上げて取り出します。

8) 金網内部および本体内部に残留している粉や異物を取り出します。

9) 掃除が終わったら、逆の手順で金網を取り付けます。

2. スクリュー底の掃除

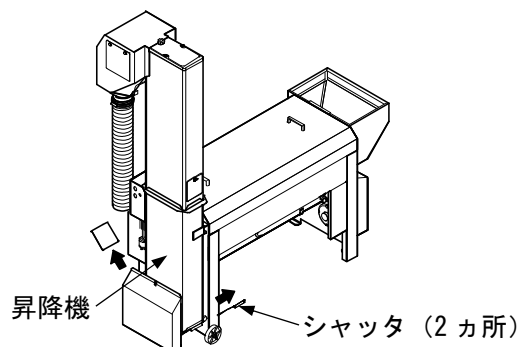


1) パチン錠 (2 カ所) を外してスクリュー底カバーを開けます。

2) スクリュー底に残留している粉を取り除きます。

3) パチン錠 (2 カ所) でスクリュー底カバーを閉めます。

3. 昇降機下部の掃除

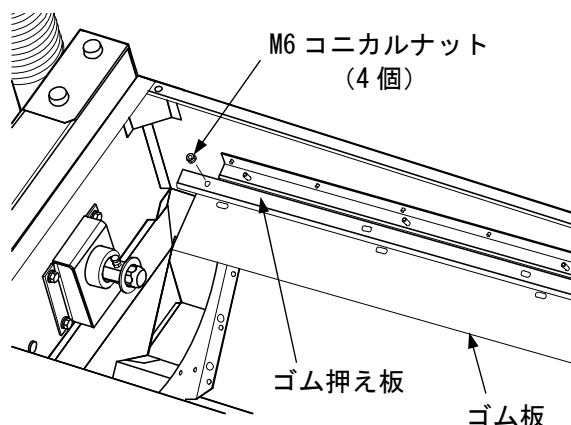


1) 昇降機下部のシャッタ (2 カ所) を開けます。

2) 昇降機底に残留している粉を取り除きます。

3) 昇降機下部のシャッタ (2 カ所) を閉めます。

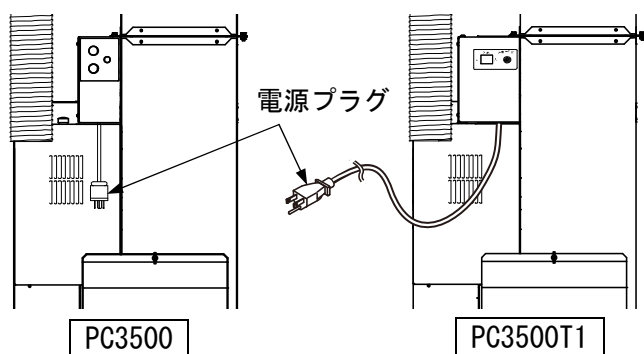
ゴム板の点検



取扱注意

- 長期間使用していると、目詰まり防止用のゴム板が摩耗してきます。ゴム板が摩耗している場合は、新しいゴム板（部品コード：150820180）と交換してください。

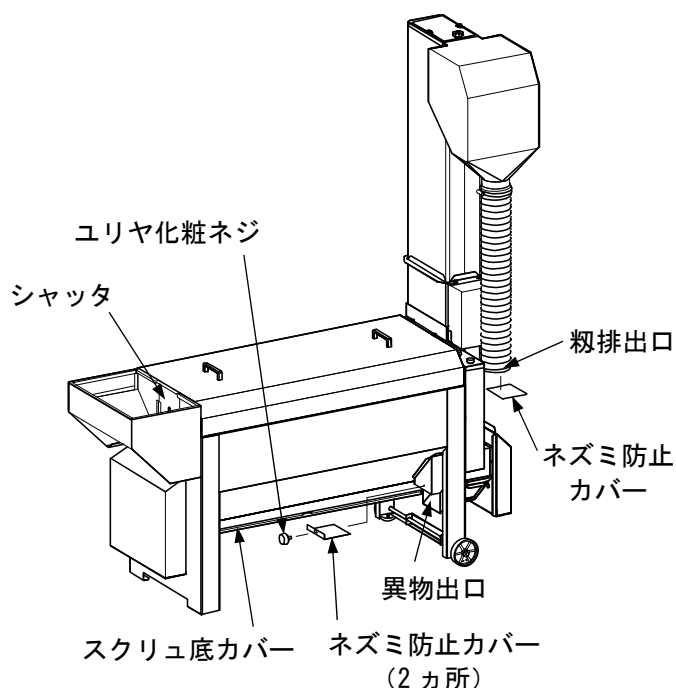
保管



- 1) 電源プラグを抜きます。

取扱注意

- 電源プラグを差し込んだままにしておくと、雷により制御部が損傷することがあります。



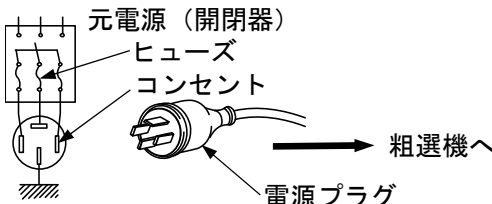
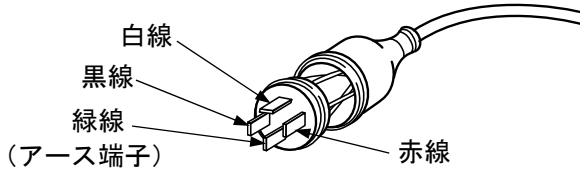
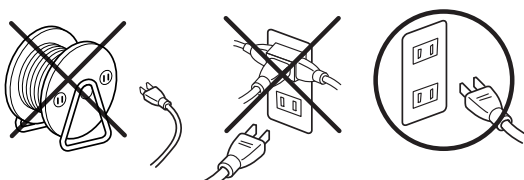
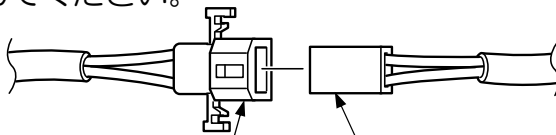
- 2) シャッタを閉めます。
- 3) カバーをすべて取り付けます。
- 4) 糲排出口にネズミ防止カバーを取り付けます。
 - カバーはお客様にて準備してください。
- 5) スクリュー底カバーを閉めます。
 - パチン錠（2 カ所）で固定します。
- 6) 異物出口にネズミ防止カバー（2 カ所）を取り付けます。
 - ユリヤ化粧ネジで固定します。
- 7) 操作盤に湿気や雨水が入らないような場所に保管します。

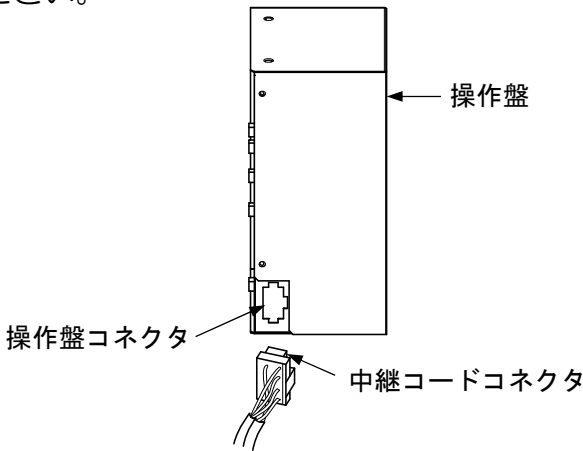
困ったときの対処のしかた

警告

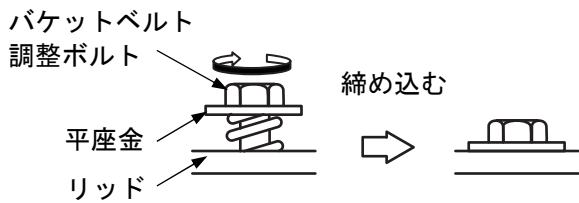
- 異常・故障の処置を行う前には、必ず電源プラグを抜いてください。
- 調整後は、作業安全のため、必ず安全カバーを元通りに取り付けてください。
- 本書の指示に従ったにもかかわらず、異常・故障が直らない場合はお買い上げの販売店またはJ Aに連絡してください。

(1) モータが回らない

原 因	対 処 方 法
元電源のヒューズが切れていませんか？ (PC3500)	元電源のヒューズを確認してください。 
元電源から操作盤まで正しく配線されていますか？ (PC3500)	配線コードの色と電源プラグが下図のようになっているか確認してください。 
コードリールの使用やタコ足配線をしていませんか？ (PC3500T1)	電圧降下の原因となりますので、直接差し込んでください。 
糸詰まりセンサのコネクタが、中継コードのコネクタに確実に差し込んでありますか？	糸詰まりセンサのコネクタを中継コードコネクタに確実に差し込んでください。 

原 因	対 処 方 法
中継コードコネクタが操作盤コネクタに確実に差し込んでありますか？	中継コードコネクタを操作盤コネクタに確実に差し込んでください。 
糸詰まりセンサが作動していませんか？	糸詰まりセンサが作動している原因を取り除いてください。 (購入先へ依頼してください)
過負荷停止ランプが点灯していませんか？	昇降機、スクリュの詰まりを取り除いてください。 (17ページ参照)
サーマルリレーの設定値が正しいですか？ (PC3500)	サーマルリレーの設定値を正しい値にしてください。 設定電流値 50 Hz地域・・・2.2A 60 Hz地域・・・2.0A (購入先へ依頼してください)

(2) 昇降機が回らない

原 因	対 処 方 法
昇降機、スクリュが詰まっていますか？	昇降機、スクリュの詰まりを取り除いてください。 (17ページ参照)
昇降機のバケットベルトが緩んでいませんか？	バケットベルトが緩んでいる場合は、左右のバケットベルト調整ボルトを、平座金グリッドに軽く接するまで均等に締め込んでください。 

配線図

1. PC3500

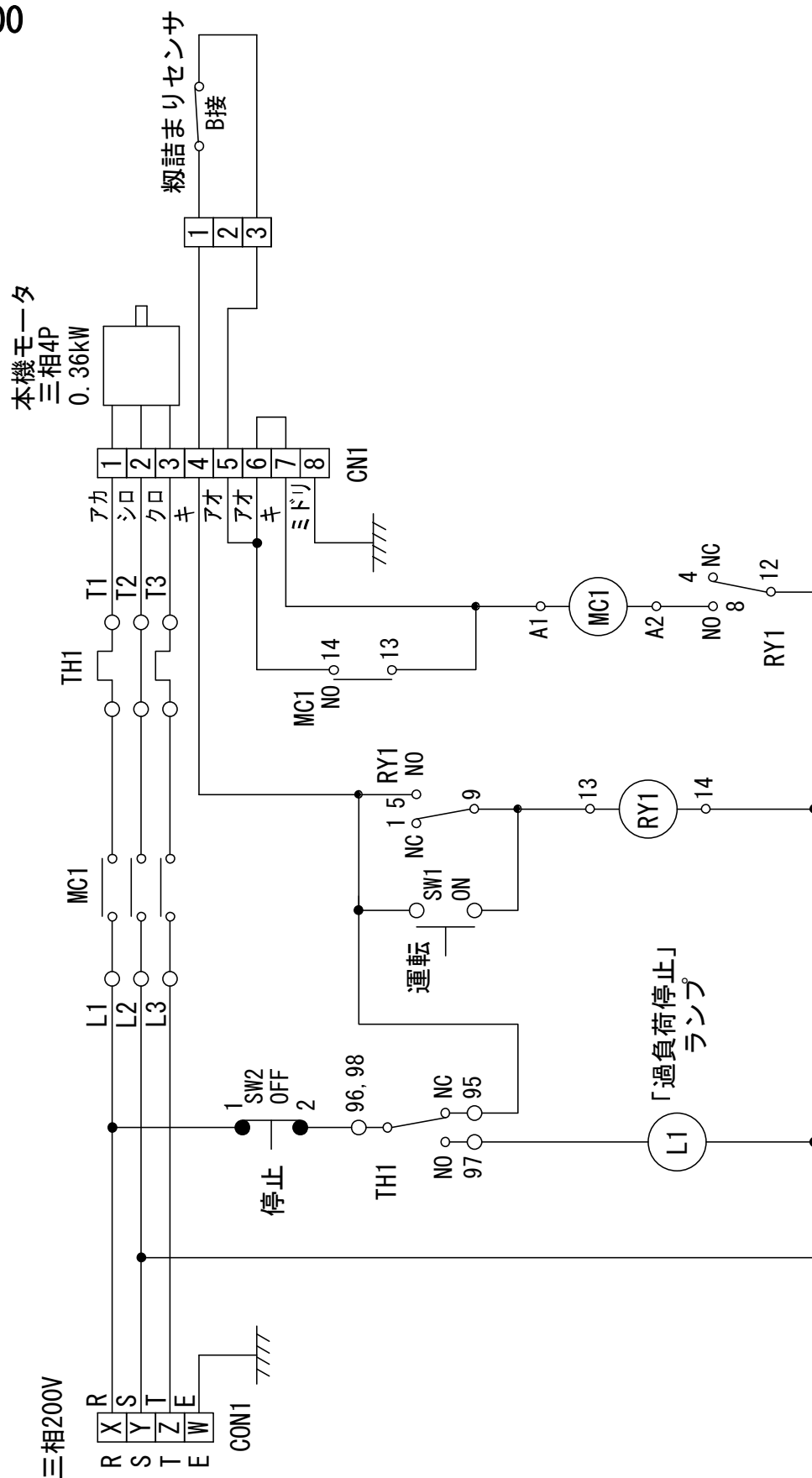


図 4 配線図 (PC3500)

2. PC3500T1

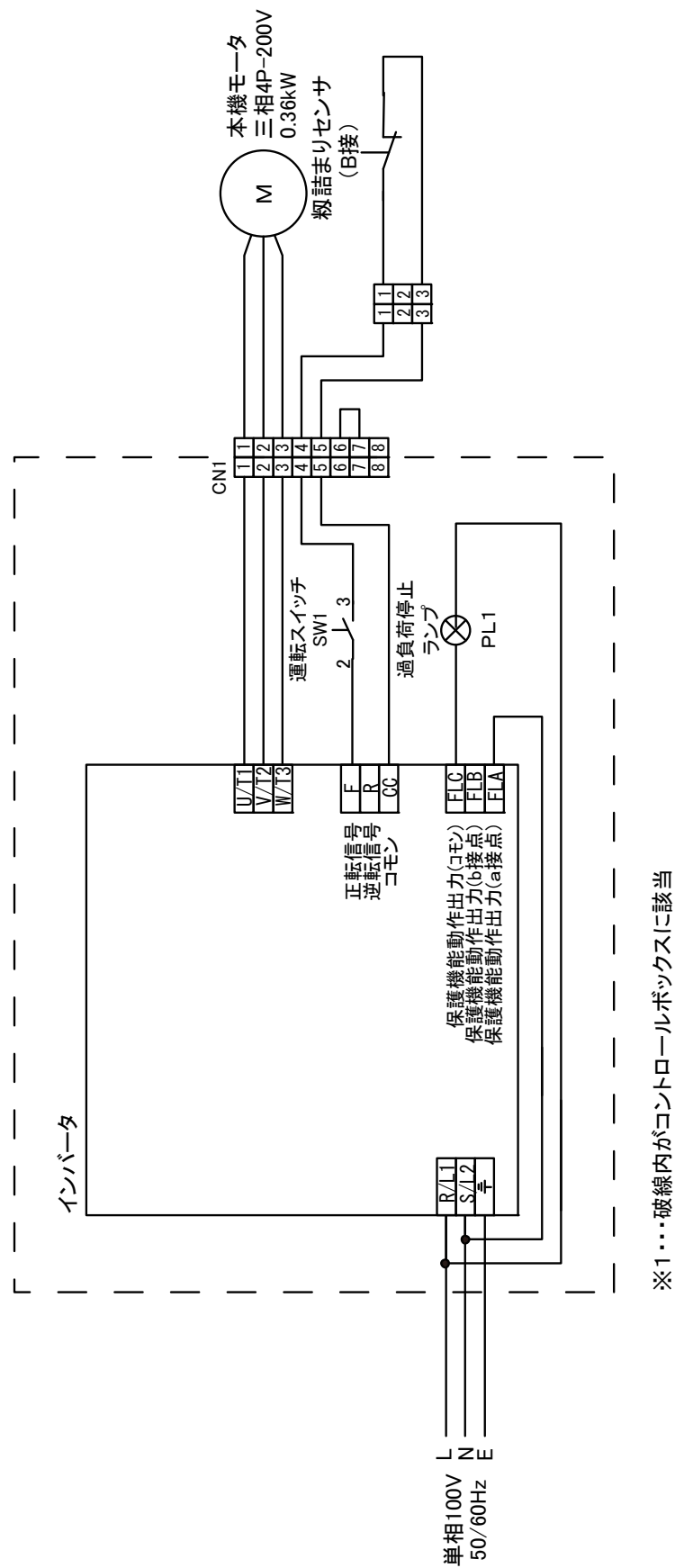


図 5 配線図 (PC3500T1)

その他

結線の変更（PC3500）

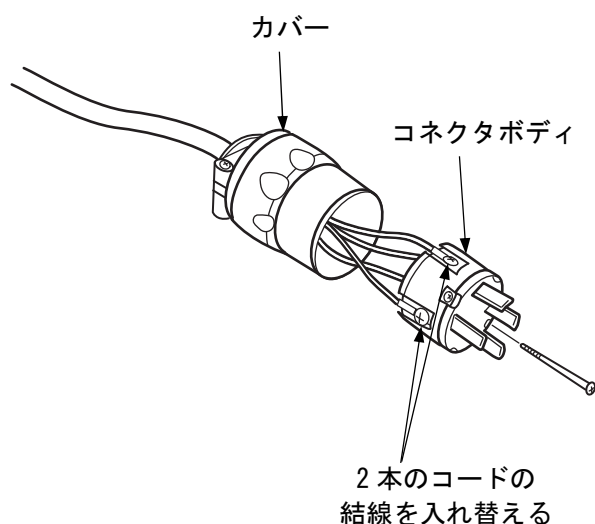
モータの回転方向が逆の場合の結線の変更方法について示します。



警告

- 結線を行うときは、必ず「停止スイッチ」を押し、電源プラグを抜いてから行ってください。

1) 機械に付いているコネクタボディ（オス）のカバーを外します。



2) 黒、白、赤コードのうち、いずれか2本の結線を入れ替えます。

- (a) 黒、白、赤コードのうち、いずれか2本の結線を外します。
- (b) 外した2本のコードを入れ替えます。
- (c) 外した2本のコードを固定します。

3) コネクタボディ（オス）にカバーを取り付けます。

オプション部品

■ 延長昇降機（注文コード：PC3500AAP50）

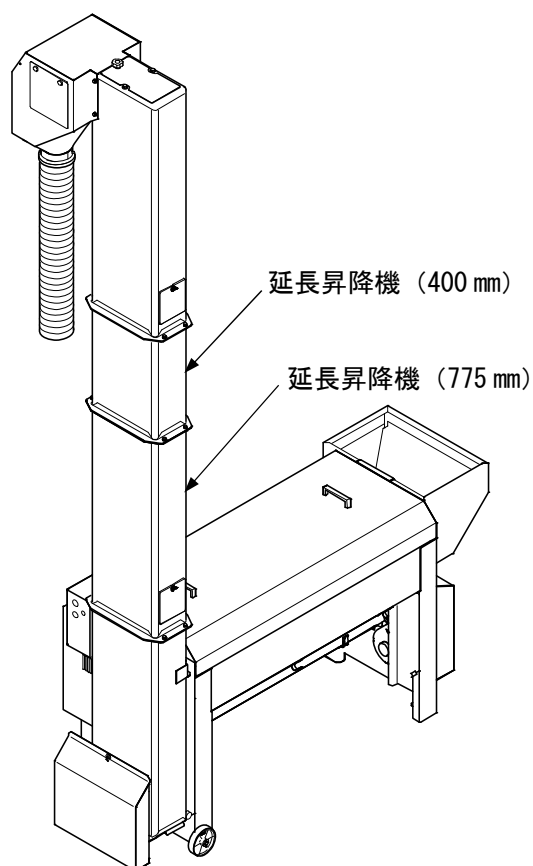
- 排出高さを高くしたい場合に使用します。
- 延長高さは 775 mm です。

■ 延長昇降機（注文コード：PC3500AAP51）

- 延長高さは 400 mm です。

取扱注意

- 延長昇降機は、合計で 1200 mm までしか取り付けることができません。



消耗部品

次の部品は消耗品となっております。点検時、消耗が激しいときには新品と交換してください。

なお、下表の時間は部品の耐久時間を保証するものではありません。

部品の耐久時間は、地域、玄米の品種・水分、使用条件等により異なるため、下表の時間を目安として事前に準備されることをお勧めします。

表 1 消耗部品表

品 名		部品コード	交換の目安
金 網		150820040	500（時間）
ゴム板		150820180	200（時間）
バケットベルト		151880330	200～250（時間）
V ベルト	LA-31	FD12S310	150～200（時間）
	LA-32	FD12S320	150～200（時間）
	LA-55	FD12S550	150～200（時間）
ベアリング		—	150～200（時間）
プラスホース		150820370	150～200（時間）

仕様

表 2 仕様一覧表

項目 \ 機種		粗選機	
型 式		PC3500	
区 分		(3)	T1 (2)
張込能力 (kg/h) 注1		3500	
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1690	
	全 幅 (mm)	625	
	全 高 (mm)	1895 3095 (延長昇降機取付時最大)	
機 体 質 量 (kg)		97	
定 格 電 圧 (V)		三相 200	单相 100 注2
定 格 出 力 (kW)		0. 36	
金網回転数 (r/min)		71	
諸 装 置	安 全 装 置	①粉詰まりセンサ ②過負荷保護装置	
	標準装備品	プラスホース	
	オプション部品	昇降機延長部品 注3	
処理可能な原料		乾燥粳	

注1. 張込能力は、原料条件（水分、夾雑物、品質等）によって変化します。

注2. 操作盤に内蔵しているインバータにて单相100Vを三相200Vに変換します。

注3. 昇降機延長は、最大で1200 mmまでです。

1200 mmを超える接続をして使用することはできません。

注4. 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

その他

機械寸法

単位：mm

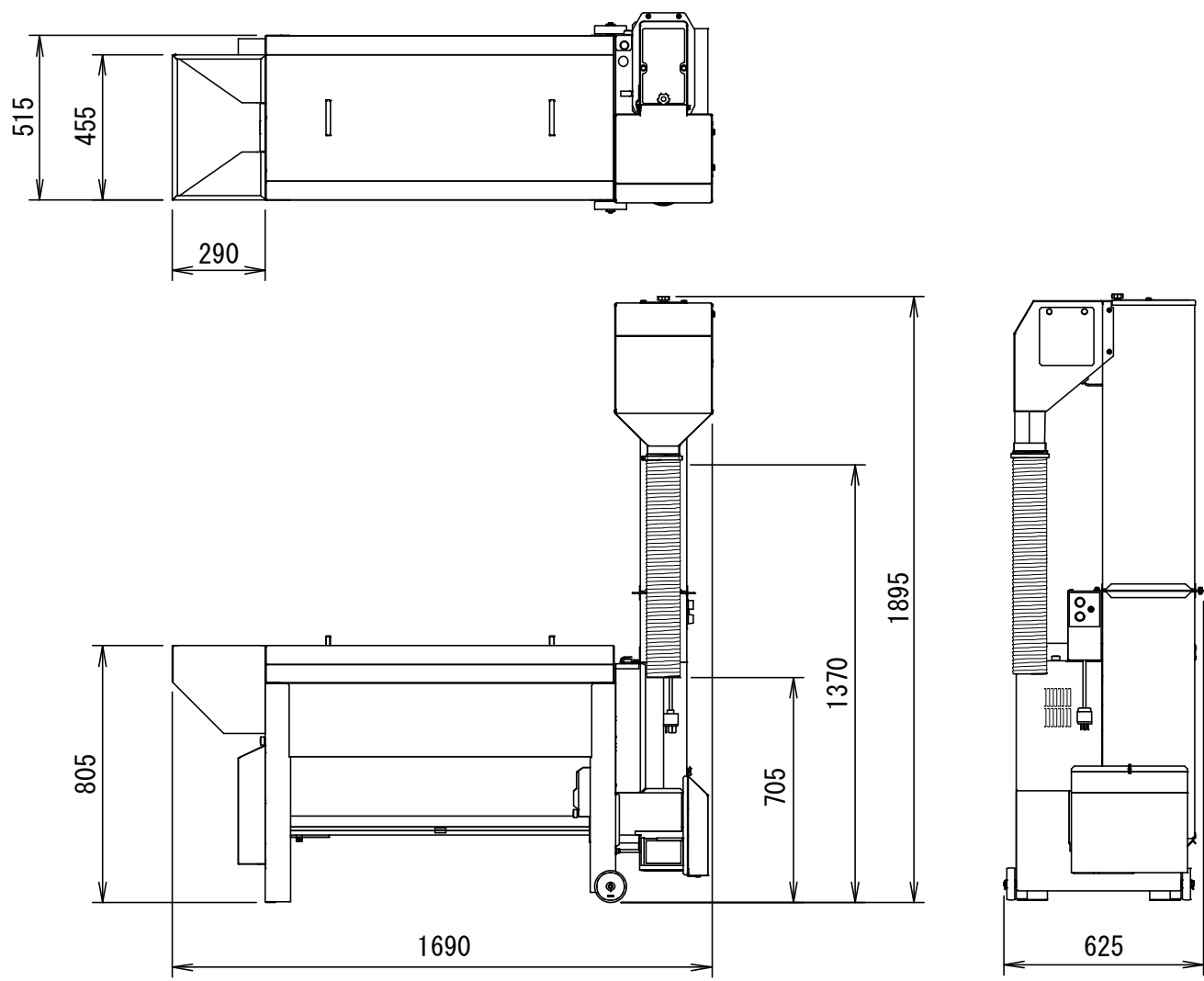


図 6 機械寸法図

ベルトの掛け方とサイズ

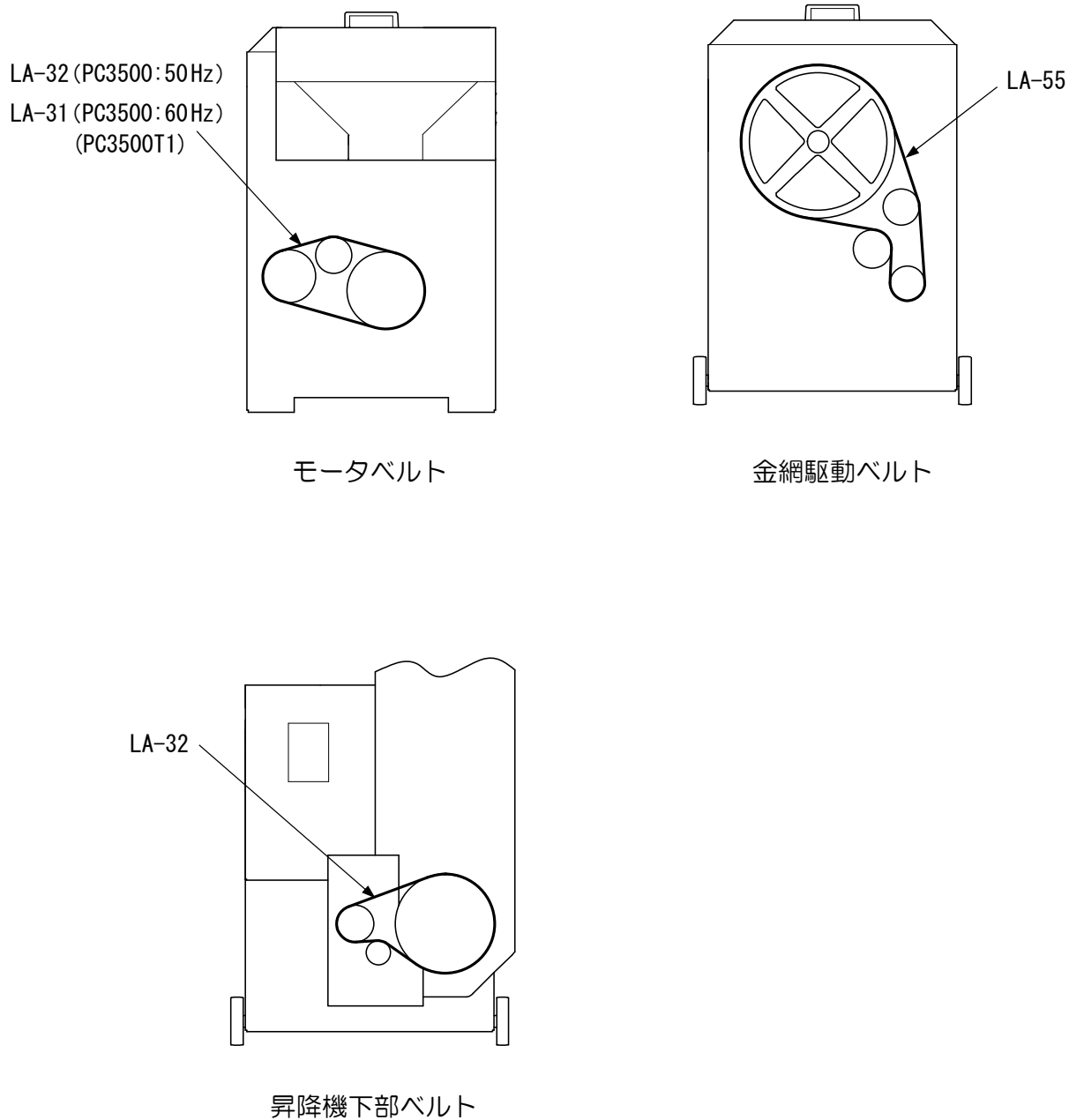


図 7 ベルトサイズ

機械の組立要領

作業者の方へ



- 組立要領を読み、十分に理解するまでは、組立作業を行わないでください。
- 組立作業中の事故やケガの防止のため、警告標示および以下の「安全に作業を行うために」の記載内容を順守してください。

安全に作業を行うために

<作業前の準備と確認>

- (1) 作業を開始する前に、安全に作業ができる広さと明るさを確保してください。
- (2) 作業を開始する前に、梱包内の部品に不足がないことを確認してください。
- (3) 開梱後のビニールなどの廃材は、作業の邪魔にならないように片付けてください。

<作業中の安全対策>

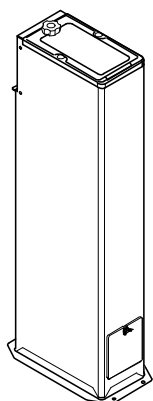
- (1) 安全に作業するため、複数名で作業を行ってください。
- (2) 関係者以外の人立ち入らないようにし、周囲の安全を確かめて作業をしてください。
- (3) 作業に適した動きやすい服装をしてください。長袖の上着（袖口が閉じたもの）、長ズボンを着用し、長い髪は束ねてください。
- (4) ヘルメット、安全靴、手袋（滑り止め付き）を必ず着用してください。
- (5) ハシゴや脚立を使用するときは、足場を十分に確保し、確実に固定してください。
- (6) 機械の梁や部品の上をよじ登ったり、昇降機をハシゴ代わりに使用しないでください。
- (7) 作業中は、お互いに声を掛け合い、合図を確認しながら行ってください。
- (8) 重い部品や大きな部品は、必ず2人以上で取り扱ってください。
- (9) 電源を入れた状態で、絶対に電気配線作業を行わないでください。
- (10) 機械の電源を入れる前に、必ず、すべての配線が正しいことを確認してください。

組立

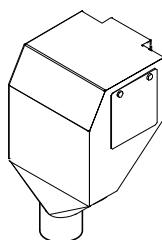
1. 組立前の作業

1) 付属部品を確認します。

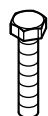
- 下図の部品は、付属部品です。全部揃っているか確認してください。
- 付属部品の中で欠品しているものがあれば、部品名と注文コードをお買い上げの販売店またはJ Aにご連絡ください。



● 昇降機上部組立品



● アウトレット組立品



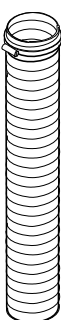
● バケットベルト
調整ボルト (2 本)
注文コード：EAA08150



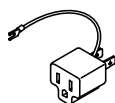
● 平座金 (2 個)
注文コード：EDB08



● スプリング (2 個)
注文コード：130111050



● プラスホース組立品



● 変換アダプタ
注文コード：FB60420012
(PC3500T1)



● コネクタボディ (メス)
注文コード：FB603033011
(PC3500)

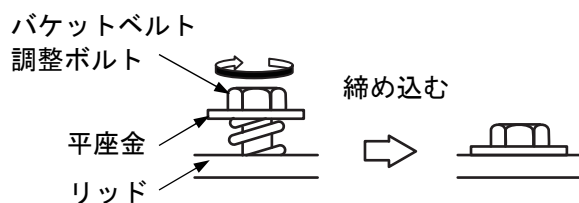
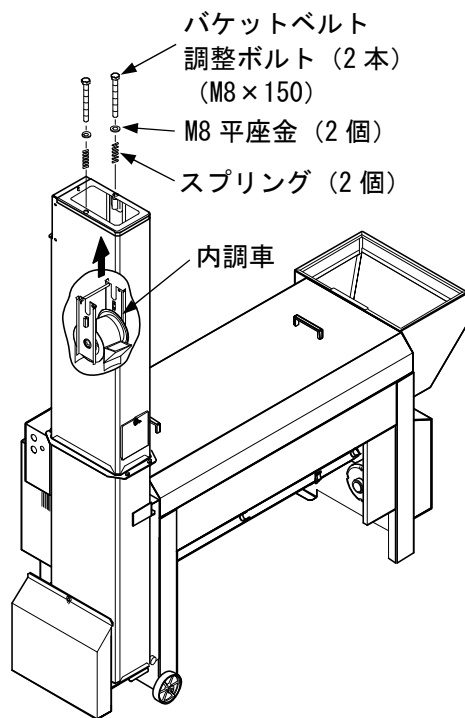
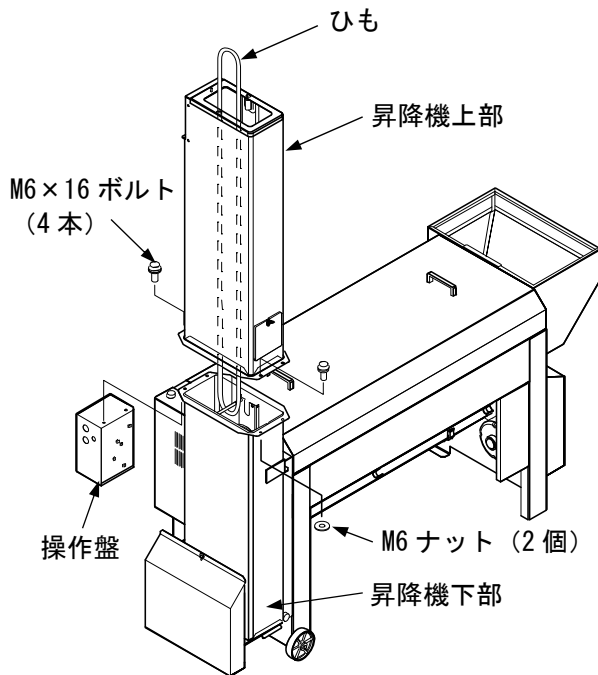


● 十字穴付き六角ボルト
M6×16 (4 本)
注文コード：ETAA06016

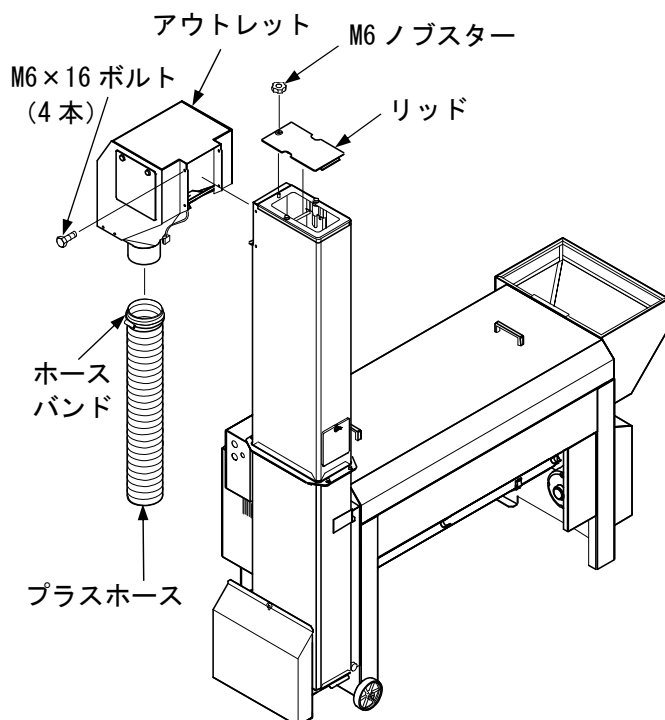


● ステッカ (操作要領)
注文コード：150820401 (PC3500)
151670401 (PC3500T1)

2. 昇降機上部の組立



- 1) 昇降機下部のひもを昇降機上部の中を通して、上の穴から出します。
- 2) 昇降機上部を昇降機下部に載せます。
- 3) 操作盤を昇降機の左側に取り付け、昇降機上部と下部を M6×16 ボルト (4 本)、M6 ナット (2 個) で固定します。
- 4) ひもを引いて、内調車を上まで引き上げます。
- 5) バケットベルト調整ボルト (2 本) に、M8 平座金 (2 個) とスプリング (2 個) を通して内調車を固定します。
バケットベルト調整ボルトは、平座金が一ッに軽く接触する程度に締め込みます。



6) リッドを取り付けます。

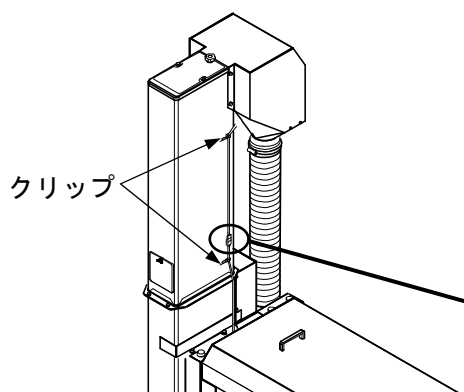
- M6 ノブスターで固定します。

7) アウトレットを取り付けます。

- M6×16 ボルト（4 本）で固定します。

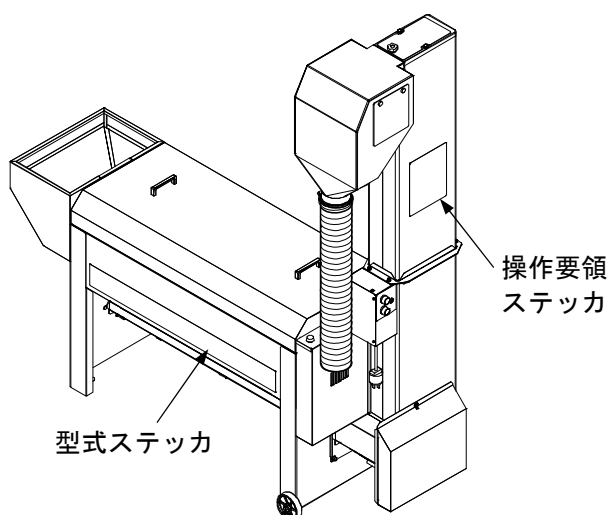
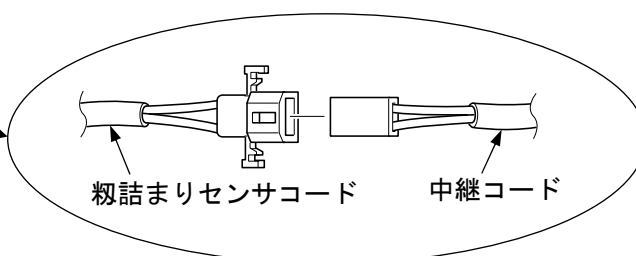
8) プラスホースを取り付けます。

- ホースバンドを締め付けて固定します。



9) 糸詰まりセンサコードと中継コードを接続します。

- 各コードは、昇降機上部のクリップ（2 カ所）で固定します。



10) 操作要領ステッカと型式ステッカを機械に貼り付けます。

- 必要に応じて貼ってください。
- 貼付位置は見えやすい場所を選んでください。
- 型式ステッカは、昇降機上部組立品に取り付けてあります。

保証とアフターサービス

取り扱い・修理などのご相談は、お買い上げの販売店またはＪＡまでお申し付けください。

■保証書（別添付）

- 保証書は必ず、「納入日、販売店名・ＪＡ」などの記入をお確かめの上、販売店またはＪＡからお受け取りください。
- 内容をよく確かめたあと、大切に保管してください。

保証期間は、納入日から１年間です。

■補修用部品の供給年限

- 本製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後10年とします。
ただし、供給年限内にあっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合があります。
- 補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給の要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

■修理を依頼されるときには

- 「困ったときの対処のしかた」（19～20ページ）に従っても直らない場合は、お買い上げの販売店またはＪＡにご連絡ください。

〔保証期間中は〕

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定に従って修理させていただきます。

〔保証期間が過ぎているときは〕

- 修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。

〔修理料金は〕

- 修理料金＋部品代で構成しています。

緊急時の連絡先

機械が異常な作動をし、原因が不明で適切な処置が行えない場合、または運転操作方法等に不明な点がある場合は、以下の窓口へご連絡ください。

〔１〕販売店・ＪＡ（購入時にお客様にてご記入ください）

店名：
緊急時の連絡先：
担当者：

〔２〕最寄りの営業所

●販売店・ＪＡに連絡が見つからない場合は、最寄りの営業所へご連絡ください。

営業所／所在地	TEL（代表）	FAX	〒
北海道営業所／札幌市白石区中央３条３丁目６-44	011（812）3666	011（820）2007	003-0013
北上営業所／岩手県北上市川岸１丁目１6-1（サタケ東北内）	0197（64）0111	0197（61）0001	024-0032
秋田営業所／秋田市仁井田字中谷地 121-2	018（839）0891	018（889）6001	010-1423
仙台営業所／宮城県仙台市若林区六丁の目西町 7-33	022（287）2733	022（390）1017	984-0011
東京営業所／東京都千代田区外神田 4 丁目 7-2	03（5256）7270	03（5256）7270	101-0021
小山営業所／栃木県小山市駅南町 4 丁目 31	0285（27）5060	0285（31）1002	323-0822
柏営業所／千葉県柏市大室 1153	04（7132）1181	04（7140）8018	277-0813
新潟営業所／新潟市中央区長潟 3 丁目 8-16	025（287）0177	025（257）1103	950-0932
名古屋営業所／愛知県一宮市赤見 1 丁目 2-28	0586（73）2177	0586（26）1040	491-0023
北陸営業所／石川県白山市源兵島町 793-1	076（277）2085	076（277）8010	924-0052
大阪営業所／大阪府豊中市稲津町 2 丁目 5-1	06（6867）6015	06（6867）6073	561-0854
広島営業所／広島県東広島市西条西本町 25-29 アソカビル 3F	082（420）8575	082（420）0010	739-0043
松山営業所／愛媛県伊予市市場 485-1	089（982）6990	089（997）3231	799-3122
九州営業所／福岡県福岡市博多区東比恵 4-12-12	092（412）0411	092（432）2710	812-0007
福岡営業所／福岡県太宰府市国分 1 丁目 7-1	092（921）6111	092（920）1030	818-0132
熊本営業所／熊本市東区長嶺東 2 丁目 4-70	096（382）2727	096（386）2007	861-8038

〔３〕製造元 株式会社

広島本社／広島県東広島市西条西本町 2-30 〒739-8602

●最寄りの営業所に連絡が見つからない場合は、以下の窓口へご連絡ください。

■お客様サポートセンター	TEL：082（420）8543	FAX：082（420）0009
■本社営業窓口 [調製機営業チーム]	TEL：082（420）8541	FAX：082（420）0005
■大代表	TEL：082（420）0001	

株式会社 **サタケ**

サタケのホームページ
<https://www.satake-japan.co.jp>

□広島本社／〒739-8602 広島県東広島市西条西本町 2-30 TEL 082(420)0001 (大代表)
□東京本社／〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-7-2 TEL 03(3253)3111 (代表)
□営業拠点／北海道、北上、秋田、仙台、小山、東京、柏、新潟、名古屋、北陸、大阪、
広島、松山、九州、福岡、熊本
□サタケグループ／
株式会社サタケ、サタケ東北株式会社、サタケ豊栄株式会社、
サタケグレインマシナリー株式会社、
SATAKE USA INC.、SATAKE AMERICA LATINA LTDA.、SATAKE EUROPE LTD.、
SATAKE AUSTRALIA PTY. LTD.、SATAKE (THAILAND) CO., LTD.、
SATAKE ASIA CO.,LTD.、SATAKE INDIA ENGINEERING PVT.LTD.、
佐竹機械（蘇州）有限公司、佐竹軟件技術（蘇州）有限公司

Copyright (C) 2026 Satake Corporation. All rights reserved.

I1PC3500ABCA-X2604D-D